



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 高島株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8007 URL http://www.tak.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 幸一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー (氏名) 齋藤 寛吾 TEL 03-5217-7297  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	60,511	△9.8	1,025	△10.0	1,082	△11.2	817	1.4
2020年3月期第3四半期	67,110	△0.1	1,139	△5.0	1,218	△10.6	806	△27.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 820百万円 (4.6%) 2020年3月期第3四半期 784百万円 (6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	181.50	—
2020年3月期第3四半期	179.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	42,257	16,916	40.0	3,752.85
2020年3月期	43,800	16,406	37.5	3,650.18

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 16,916百万円 2020年3月期 16,406百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△8.8	1,100	△35.8	1,200	△32.7	800	△35.4	177.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

年次での業績管理を行っておりますので、通期業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	4,546,173株	2020年3月期	4,564,573株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	38,449株	2020年3月期	69,986株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,502,543株	2020年3月期3Q	4,495,174株

（注）前連結会計年度の期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

また、期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日)におけるわが国の経済環境は、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。持ち直しの動きも見られます。個人消費は持ち直しの動きに足踏みがみられ、企業収益は大幅な減少が続いております。先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、国内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分に注意するとともに、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当事業に関連する市場のうち、建設関連市場は市場全体への感染症の影響により、弱含みで推移するものと見られております。太陽エネルギー関連市場は固定買取価格の引き下げが進む影響、感染症の影響が相まって、市場は低調に推移しております。繊維関連市場、自動車関連市場、樹脂関連市場も感染症の影響で厳しい状況が続いており、電子機器関連市場についても、世界的な感染症の影響の拡大から市場状況は厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは各分野において売上、利益の確保に努めましたが、売上、営業利益、および経常利益は減少いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前連結会計年度に計上された当社連結子会社タクセル株式会社における2019年1月の火災事故からの復旧過程で発生した費用の計上はなく、火災保険受領、保険解約、固定資産売却等による特別利益の計上があったため、増加いたしました。

この結果、当社グループにおける売上高は、60,511百万円(前年同四半期9.8%減)、営業利益は1,025百万円(同10.0%減)、経常利益は1,082百万円(同11.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は817百万円(同1.4%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については前年同四半期の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①建材

建設資材関連分野、太陽エネルギー関連分野ともに感染症による市場影響を受けて売上が減少し、一方で各分野にて利益確保に努めたものの、建材セグメント全体ではセグメント売上、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、36,569百万円(同6.9%減)、セグメント利益は543百万円(同14.0%減)となりました。

#### ②産業資材

繊維関連分野、自動車関連分野、樹脂関連分野において感染症による市場影響を受けて売上が減少し、一方で各分野にて利益確保に努めたものの、産業資材セグメント全体ではセグメント売上、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は14,712百万円(同16.4%減)、セグメント利益は34百万円(同61.6%減)となりました。

#### ③電子・デバイス

電子機器関連分野においては、感染症による市場影響を大きく受け、電子・デバイスセグメント全体ではセグメント売上が減少いたしました。一方で利益確保に努め、セグメント利益は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は9,008百万円(同10.1%減)、セグメント利益は360百万円(同14.7%増)となりました。

#### ④賃貸不動産

保有賃貸不動産の安定的な収益を計上する一方、大規模修繕を実施したことにより、セグメント売上は横ばい、セグメント利益は減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は220百万円(同0.1%増)、セグメント利益は86百万円(同15.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産は32,463百万円（前連結会計年度末比4.9%減）となりました。受取手形及び売掛金が1,699百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は9,794百万円（同1.5%増）となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他が78百万円減少し、一方で投資有価証券が203百万円増加したこと等によるものであります。

流動負債は22,349百万円（同7.7%減）となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が500百万円、短期借入金金が1,296百万円、賞与引当金が209百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は2,991百万円（同5.6%減）となりました。主な要因は、長期借入金が200百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は16,916百万円（同3.1%増）となりました。主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が361百万円減少し、一方で親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が817百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年11月12日の「2021年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,454	4,603
受取手形及び売掛金	24,415	22,716
商品及び製品	3,442	3,417
仕掛品	92	145
原材料及び貯蔵品	818	640
未成工事支出金	407	598
その他	593	415
貸倒引当金	△75	△73
流動資産合計	34,149	32,463
固定資産		
有形固定資産	5,072	5,040
無形固定資産	71	107
投資その他の資産		
投資有価証券	2,652	2,856
退職給付に係る資産	130	138
その他	1,886	1,807
貸倒引当金	△162	△156
投資その他の資産合計	4,507	4,646
固定資産合計	9,651	9,794
資産合計	43,800	42,257

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,731	19,230
短期借入金	2,105	809
未払法人税等	239	135
賞与引当金	398	188
役員賞与引当金	35	—
その他	1,715	1,985
流動負債合計	24,225	22,349
固定負債		
長期借入金	861	661
退職給付に係る負債	93	73
その他	2,214	2,256
固定負債合計	3,169	2,991
負債合計	27,394	25,340
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,822
利益剰余金	9,860	10,502
自己株式	△131	△76
株主資本合計	15,356	16,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	487	627
土地再評価差額金	603	417
為替換算調整勘定	△46	△159
退職給付に係る調整累計額	5	△18
その他の包括利益累計額合計	1,049	866
純資産合計	16,406	16,916
負債純資産合計	43,800	42,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	67,110	60,511
売上原価	60,831	54,606
売上総利益	6,279	5,905
販売費及び一般管理費	5,140	4,880
営業利益	1,139	1,025
営業外収益		
受取利息	33	30
受取配当金	100	92
貸倒引当金戻入額	0	5
助成金収入	—	57
その他	54	52
営業外収益合計	189	238
営業外費用		
支払利息	65	23
為替差損	29	87
持分法による投資損失	5	4
その他	8	65
営業外費用合計	109	180
経常利益	1,218	1,082
特別利益		
固定資産売却益	—	60
保険解約返戻金	—	21
保険差益	1	93
負ののれん発生益	70	—
特別利益合計	72	175
特別損失		
関係会社株式売却損	3	41
減損損失	23	36
火災損失	29	—
特別損失合計	56	77
税金等調整前四半期純利益	1,234	1,180
法人税、住民税及び事業税	308	327
法人税等調整額	119	35
法人税等合計	427	363
四半期純利益	806	817
親会社株主に帰属する四半期純利益	806	817

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	806	817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	139
為替換算調整勘定	△6	△113
退職給付に係る調整額	△24	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	△22	2
四半期包括利益	784	820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	784	820
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、2016年6月29日開催の株主総会決議に基づき、当社取締役(社外取締役及び監査等委員を除く。以下同じ。)を対象として業績連動型株式報酬制度「役員向け株式交付信託」を導入しておりましたが、2020年6月25日開催の株主総会決議に基づき、本制度を廃止し、「譲渡制限付株式報酬制度」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託が当社株式を取得し、業績に応じて当社が各取締役に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて各取締役に交付されるという業績連動型の株式報酬制度であります。業績の指標としては「親会社株主に帰属する当期純利益」を使用することとします。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時といたします。

(2) 信託に残存する自社の株式

前連結会計年度において信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は28百万円、18千株であります。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	電子・デバ イス	賃貸不動産			
売上高							
外部顧客への売上高	39,266	17,598	10,024	220	67,110	—	67,110
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	41	22	64	△64	—
計	39,266	17,599	10,066	242	67,175	△64	67,110
セグメント利益	631	90	314	102	1,139	—	1,139

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「産業資材」セグメントにおいて、当社連結子会社である小野産業株式会社の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては23百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「建材」セグメントにおいて、株式会社レストを当社の連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益を計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては70百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	電子・デバ イス	賃貸不動産			
売上高							
外部顧客への売上高	36,569	14,712	9,008	220	60,511	—	60,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	20	16	37	△37	—
計	36,569	14,713	9,028	237	60,548	△37	60,511
セグメント利益	543	34	360	86	1,025	—	1,025

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子・デバイス」セグメントにおいて、当社連結子会社であるiTak International (Vietnam) Ltd.の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては36百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、より専門的かつ効率的な経営判断の推進と意思決定の迅速化、経営責任の明確化を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「建材セグメント」、「産業資材セグメント」及び「賃貸不動産セグメント」の3区分から、「建材セグメント」、「産業資材セグメント」、「電子・デバイスセグメント」及び「賃貸不動産セグメント」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。